

【ストーリー(イメージ)】

■ ありたいまち

尼崎市では、まちに関わる皆さんが「こうありたい」と望むまちの姿を「ありたいまち」と呼んでいます。その姿は、まちに関わる人の数だけあるので、その思いを全部詰め込んで、“ひと咲き まち咲き あまがさき”と名付けました。

“ひと咲き まち咲き あまがさき”は、先人たちから受け継がれ、今を生きる私たちが未来に紡いでいく、ひととまちが持つチカラが発揮されたまちのようすです。

産業のまちとして発展し、過去から受け入れてきた多様な価値観を背景に、多彩なひとが出会い、つながることで互いを高め合い、支えあうなかで、まちに活力が生まれていく。

また、まちの魅力を活かし、だれもが便利で安全・安心な暮らしを実感し、自分の居場所を見つけ、誰もが自分らしく暮らしている。

そんな想いや行動が、“ひと”と“まち”を未来につなぐ「チカラ」になる。

そんな魅力あふれるまちを目指し、私たちは役割を分かち合い、チカラを合わせてまちづくりを進めていく必要があります。

“ひと咲き まち咲き あまがさき”

この尼崎で、ひとやまちのチカラが咲き乱れ、まち全体が大きな花となり咲き誇る。

そんなまちを目指します。

【案② チカラシリーズ】

産業都市としての誇りを持ち、「**産業のチカラ**」でひとやまちに活気があふれているようす

ひとを受け入れ育まれた「**思いやりのチカラ**」で誰一人取り残されないようす

多彩なひとが集まり、つながることで高まる「**市民のチカラ**」でまちに魅力があふれているようす

まちが持つ利便性がもたらす「**暮らしのチカラ**」で、誰もが人生を楽しんでいるようす

いつの時代も前へ進んできた「**先見のチカラ**」で、安全・安心な未来が広がっているようす